

イカナゴしんこ漁況予報（2025 年）

2025 年 2 月 19 日

（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター

◎水温（図 1）

水温の高低は、イカナゴ親魚の産卵時期（水温低下が産卵の引き金となる）や、ふ化した仔魚の成長（水温が高い方が成長が速い）、生き残り率（低水温の方が良い）などに影響を与える。今期は 12 月中旬以降、平年並みから低めで推移している。気象庁は 2 月中旬以降の気温を低めと予測しており、2 月の水温は低めで推移すると考えられる。

◎季節風（図 2）

季節風（特に西風成分）は、播磨灘から大阪湾に向かう海流を強め、イカナゴ仔魚の大阪湾への流入量を増大させる。また、仔魚の散らばりを促進することによって、生き残りにプラスに働く。今冬の西風は、12 月以降平年を上回っている。

◎産卵量および産卵期

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センターは、大阪湾で漁獲されるイカナゴの主な産卵場である播磨灘鹿ノ瀬海域で産卵親魚の調査を行っている。その結果によると、今期の鹿ノ瀬海域での産卵量指数は平年（1986 年～2022 年の平均値）と比べると約 0.03 倍であり、不漁が続く近年中でも低い値であった。親魚の成熟状況等から、今期の産卵盛期は昨シーズン（12 月 19 日～1 月 4 日）と同時期である 12 月 21 日から 1 月 6 日と推定されている。

◎仔魚の出現状況（図 3, 4）

大阪湾内に設けた 12 の調査点において、プランクトンネット（ボンゴネット、斜め曳き）によるイカナゴ仔魚採集調査を 3 回実施した。

第 1 回調査は 1 月 6 日に実施した。仔魚の採集数は 1 点あたり 1.9 尾、平均全長は 3.9 mm であった。明石海峡周辺を中心に採集された。

第 2 回調査は 1 月 20 日に実施した。仔魚の採集数は 1 点あたり 1.4 尾、平均全長は 6.2 mm であった。明石海峡周辺から大阪湾西部海域を中心に広い範囲で採集された。

第 3 回調査は 1 月 31 日に実施した。仔魚の採集数は 1 点あたり 0.3 尾、平均全長は 11.4 mm であった。採集数はわずかであったが、小型個体から大型個体まで採集された。

12 月以降平年よりも西風が強い日が続いていることから、播磨灘から大阪湾への流入が促進される状況であったと推察されるが、採集数は 3 回の調査ともに昨年とほぼ同程度となった。これは、親魚の産卵量指数が昨年よりも低下したことが要因であると考えられる。3 回目調査では平均全長が昨年よりも大きくなった。これは、3 回目調査で 19 mm を超える大型個体が採集されたことに起因し、仔魚の大きさとしては昨年と大きく変わらないと推察される。

◎イカナゴしんこの漁況見通し

今期の鹿ノ瀬における産卵量は、不漁が続いている近年中でも低い値になっている。環境条件をみると、水温は12月中旬以降、平年並みから低めで推移している。西風は12月以降平年を上回る日が続いている。つまり、イカナゴ仔魚の生残には好適な環境であり、播磨灘から大阪湾への流入が促進される状況であったと推察される。

これらのことから総合的に判断すると、今年の大阪湾のイカナゴ漁開始時におけるしんこの資源量は昨年並みから昨年を下回ると予測され、不漁が続いている近年中でも最低レベルであると考えられる。また、2月下旬～3月上旬時点でのしんこの大きさは、昨年並みと予測される。

初の自主休漁となった2024年漁期と同水準の資源量が予想され、極めて危機的な状況であるといえる。今後のイカナゴ資源回復のためには親魚となる資源を最大限残すことを重視した取組が必要である。

図 1 大阪湾口部の水温変化

水産技術センター地先(水深約 3m)、午前 9 時の水温
平年値は、1992 年～2024 年の平均値

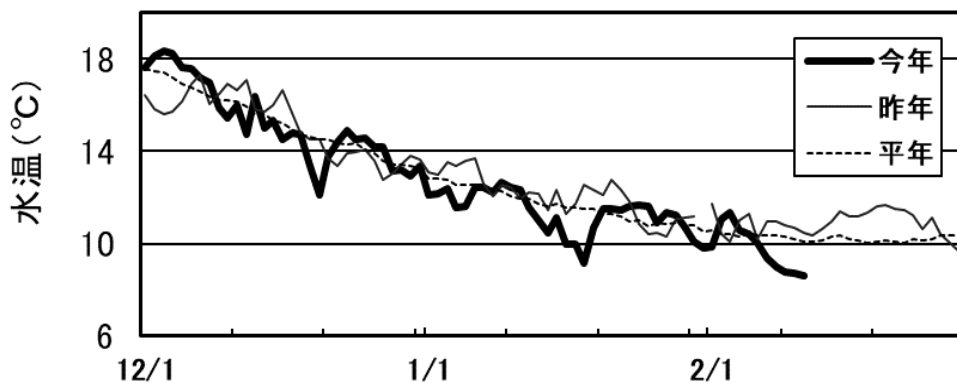


図 2 西風成分の平年偏差

水産技術センター定置観測、旬平均値
平年値は、1981 年～2024 年の平均値

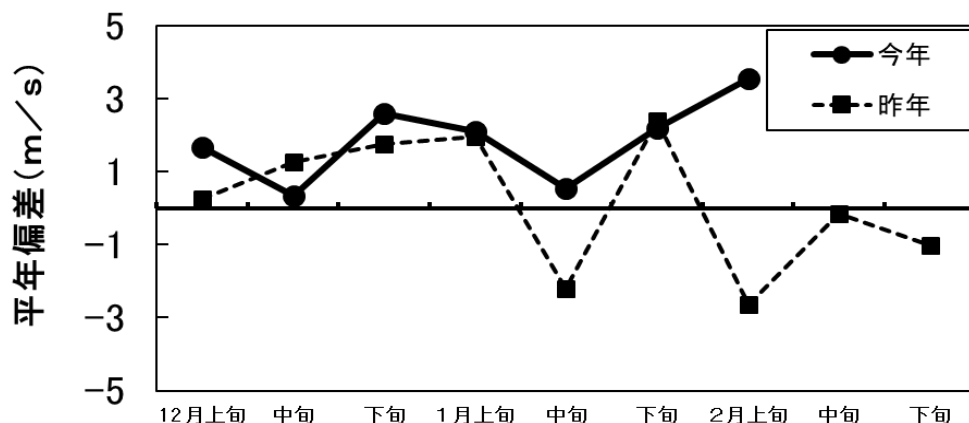
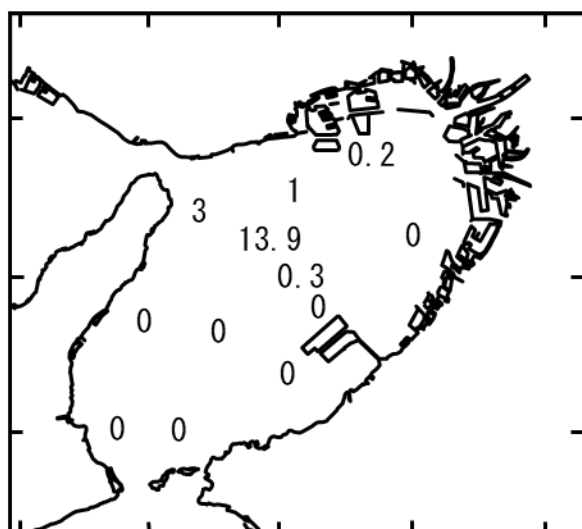
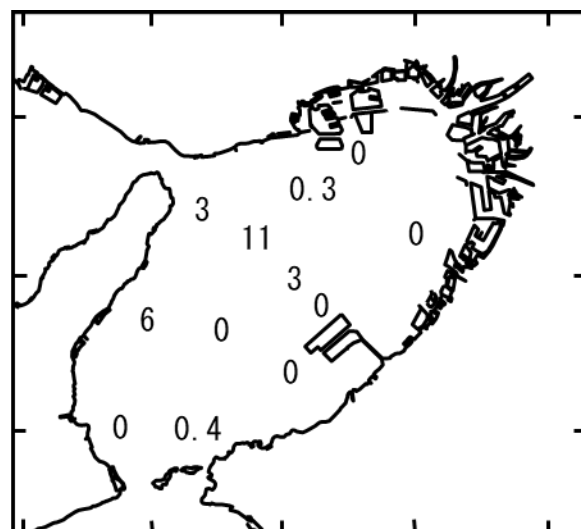


図3 イカナゴ仔魚の採集数

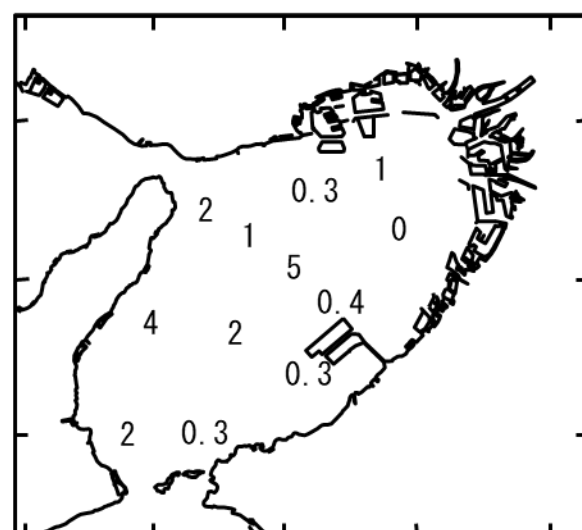
ボンゴネット斜め曳きによる、面積1平方mの水柱あたりの尾数



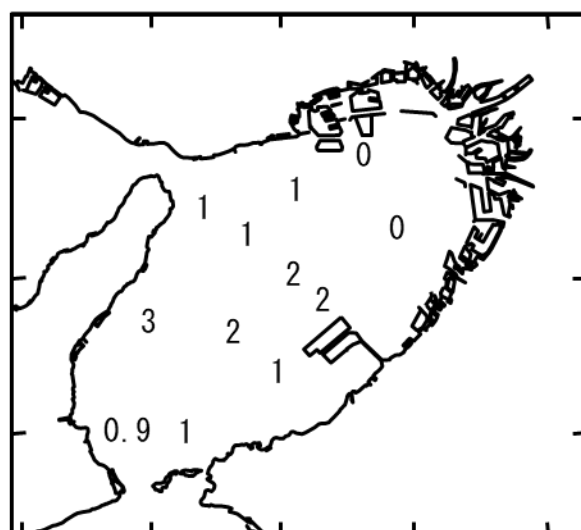
昨年1月5日 1点平均 1.7尾



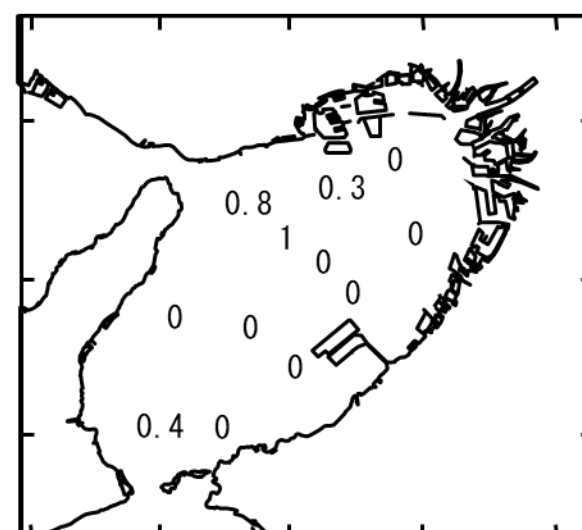
今年1月6日 1点平均 1.9尾



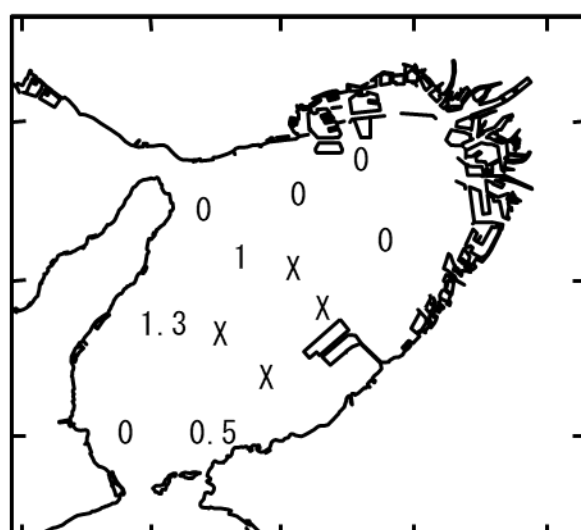
昨年1月17日 1点平均 1.5尾



今年1月20日 1点平均 1.4尾



昨年1月31, 2月1日 1点平均 0.2尾



今年1月31日 1点平均 0.3尾
Xは欠測を示す

図4 昨年と今年のイカナゴ仔魚全長組成の比較

※グラフの縦軸は頻度（％）を示す

